

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '環境美化運動事業' and '生活環境の保全'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 (環境美化の推進を図るとともに、資源の有効利用の促進等の対応に努め、環境保全に対する意識の高揚を図ることをねらいとして、茨城県、関東甲信越静環境美化推進連絡協議会が主催する、環境美化活動。5月30日(ごみゼロ)にあわせて行う、地域市民参加による市内一斉清掃活動。行政区ごとに集められたごみを回収し、分別後処分。リサイクルできるものは、売却処分する。) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順 (空き缶等の散乱防止を呼びかけるとともに、市内120行政区に対し、清掃活動の実施依頼をする。実施後、委託業者による、各集積所からのごみの回収作業。集められたごみは分別し、処分。行政区からの実施報告書の取りまとめ作業。実施状況に基づいた、各行政区への報償金の支払い事務。)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with multiple columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥指標. Includes data for participation in administrative districts, citizens, and cleanup activities.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing financial input and personnel input. Columns include 30年度 (実績), 01年度 (実績), 02年度 (計画), and 期間限定総投入量.

Table comparing 01年度事業費実績 (千円) and 02年度事業費 予算 (千円). Rows include 08 報償費, 11 需用費, 13 委託料, and a total (合計).

事務事業名	環境美化運動事業	事務事業No.	50802000230	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 「自分たちの街を自分たちの手できれいに」をスローガンに、「関東地方環境美化の日」(5月30日：ごみゼロの日)の事業として昭和57年から開始された。関東甲信越静環境美化推進連絡協議会は、東京・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・山梨・静岡・長野の10都県並びに新潟県の清掃担当課で構成される団体。					
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 「普段から清掃活動しているので、特別には実施しない」という行政区もあった。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 自ら地域を清掃することにより、地域への愛着や美化に対する意識が増し地域のつながりが強くなる。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域で収集したごみを、市が回収する。行政区へ報償金を支払い、清掃活動の運営費用に役立ててもらう。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 一斉清掃活動日に実施していない行政区については、随時地区内の清掃活動に取り組んでいるので、改めて行わない旨の回答があった。統一美化活動の趣旨を理解していただき、賛同してもらえるように働きかけていく必要がある。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 環境保全・環境美化の意識向上に繋がらない。
有効性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 関東を含め11都県で一斉に行っている事業であるため。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最小限の経費、業務時間である。
効率性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全域を対象としている事業のため。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	一斉清掃活動日に実施していない行政区については、随時地区内の清掃活動に取り組んでいるので、改めて行わない旨の回答があった。統一美化活動の趣旨を理解していただき、賛同してもらえるように働きかけていく必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 報償金振込み口座の記入について、口座を変更していない場合があるため、変更なしに○をつけてもらうよう報告書の内容を変更する。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			X	低下			X
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			X																				
	低下			X																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>